

「5W1H でわかりやすく学べる 作業療法理論の教科書」正誤表

『5W1H でわかりやすく学べる 作業療法理論の教科書』（2020年10月10日発行 第1版第1刷）
 において以下の誤りがありました。
 ここに深くお詫びいたし、訂正申し上げます。

(2020年11月2日 メジカルビュー社編集部)

ページ	誤	正
p. 60	用語解説「構造構成主義」の囲み内 下から2行目 「・・・原因論がさまざまな認論により・・・」	「・・・原因論がさまざまな認識論により・・・」
p. 103	表1「作業参加・相互作用」の例 「相互作用の状況を評価する視点には、以下の作業役割、作業期待、作業的挑戦、作業反応がある」	「相互作用の状況を評価する視点には、以下の作業役割、役割期待、作業的挑戦、作業反応がある」
p. 120	本理論のポイント 3項目め 「☑認知神経リハビリテーションの練習では、身体や対象物の・・・」	「☑認知神経リハビリテーションの介入では、身体や対象物の・・・」
p. 123	「どこで、どんなときに使うのか？」 本文6行目 「特に、運動や行為の介入を反復しても学習（改善）が・・・」	「特に、運動や行為の練習を反復しても学習（改善）が・・・」